



天野産業株式会社



本社：岡山県笠岡市七番町1番地76
 業種：建設業
 従業員数：63名（令和2年12月1日現在）
 設立：1969年
 資本金：6,000万円
 拠点：笠岡・倉敷・福山
 URL：<https://amano-sangyou.co.jp/>



経営理念：時代に即応した企業づくりを常に心掛け、法令を順守し、社業の継続的改善を行い会社の発展を目指す。さらに社業を通じて顧客の満足を得ることにより、地域社会の信頼確保を目指す。

国土強靱化団体認証 レジリエンス認証 取得企業（2016年～）

BCP策定に取り組まれたきっかけ

きっかけは当社取締役総務部長の東日本大震災での経験。2011年3月11日当日は出張で東京にいた。地震により公共交通機関がストップしていた為、ひたすら徒歩での移動となった。その中で、ヘルメットを被り防災グッズの入ったリュックを背負って帰宅している人を見かけ、「**当社はここまで準備出来ているだろうか**」とハッとした。このような対応に触れることで、有事の際に何ができるのか、当社でも準備しておく必要があると実感した。

BCPの特徴・こだわりポイント

- ・「**会社を良くするためのBCP**」と考えており、BCPに取り組むことは**経営を進化させていくことにも繋がる。**
- ・**どのように事業継続させていくかは、経営視点で需要と供給を柔軟に捉え、企業として生き残っていくための一部分**である。
 だからこそ、トップ＝経営者主導で、役員会等で共有の上、担当者へ権限移譲しており、一体感を持って取り組んでいる。
- ・特定の事象に対してだけではなく、あらゆるリスクに都度動けることが重要だと考えている。

BCP策定のメリットやBCP策定・運用にあたり苦労した点

<メリット>

- ・BCPに取り組むことで得られるネットワークが非常に助かっている。**建設業同士の「なでしこBC連携」では他県企業の考えや先進的取組等について意見交換することができ、BCPに限らず新たな開発や会社の事業強化に繋がるような機会を得られることも多く、お互いに何かあった時にすぐに相談できる関係性は大きなメリットである。**
- ・ネットワーク加入のきっかけは、熊本地震の際に当社従業員（技術者）がボランティアとして現地に入ったものの、一般的なボランティアと同じような作業しか行えず、同じ建設業者の支援が出来ず悔しい経験があったから。

<苦労した点>

- ・当初は作り方も何から手を付けていいかも分からず、とても時間がかかった。マニュアルやガイドラインがあっても、様々な災害が発生する中で、どこまで想定して落とし込むかも難しいところ。**資料ばかりが膨大になり、どこに何があるか分からなければ意味がない**と思った。
- ・従業員に対しては、**会社がBCPに取り組んでいるということ**を「**知っておいてもらう**」ので**良い**と考えている。必ずしも全員が同じ方向を向いて取り組んでいく、というのは現実的には難しく、捉え方等に個人差があるのはやむを得ない。とにかく知っておいてもらえれば、いざという有難の際には従業員みんなが動いてくれる。
- ・BCPの計画を策定していても、「BCPに盛り込まれていなかったので、動けなかった」とならないよう、あらゆるリスクを想定し、各自が判断して行動できる方が重要である。

感染症BCPについての取り組み

まだ感染症BCPに対する訓練が出来ていないものの、まずは**従業員の意識調査を実施**。やはり各自で感染症に対する認識差があったことが分かったので、まずは会社としての対応方針をメッセージ配信していく予定。

なでしこBC連携



なでしこBC連携

